

学校だより



# かきた

＜学校教育目標＞

「**自分のよさ(知性・感性)を発揮し、心豊かにたくましく生きる子ども**」を育成する  
かしこく きよく たくましく

## 埼玉県出身の偉人「渋沢栄一」の母

校長 大澤 崇

1学期も残り3週間、笑顔あふれる「かすみ北」を目指し、この3ヶ月間教育活動に取り組んできました。保護者の皆様や地域の皆様のご理解・ご協力のおかげで、子供たちは笑顔いっぱい学校生活を過ごしています。

さて、埼玉県出身の偉人「渋沢栄一」が肖像となる新一万円紙幣が、7月3日に発行されます。栄一は「近代日本経済の父」と称され、民間人として経済による近代的な国づくりを目指し活躍しました。歴史に残る偉業を成し遂げた背景には、生まれた環境が大きく影響していると言われていています。その中で、母（ゑい）は慈愛に満ちた優しい人だったようです。村八分にされるようなハンセン病を患った人に対しても優しく接していました。（彩の国の道徳ホームページ版 みんななかよし「一輪の花」参照）渋沢栄一を主人公としたNHK大河ドラマ「青天を衝け」の中では、「あんたがうれしいだけじゃなくて、みんながうれしいのが一番なんだ」という母の台詞がありました。実際に言ったかはわかりませんが、そのような思いを常にもって栄一に語っていたのではないかと想像します。このような母の教えが土台となり、儲けのみを求めるのではなく、世のために人のために働いて儲ける「公共の利益」を追求することで、皆が幸せになり国が豊かになると栄一は考え、実践してきました。

現代社会においては価値観が多様化し、今自分さえ楽しければよいといった行動や、「公」の意識が希薄になり自己の利益のみに関心がいつてしまうような傾向にあると言われていています。北小の子供たちには、自分のことだけでなく周りのことも考えられる人になってほしい、誰に対しても公平に接することのできる人になってほしい、周りのみんなを笑顔してくれる人になってほしいです。

＜笑顔あふれる…＞

6年生のバスケットボール大会。チームの仲間と協力し、一人一人が全力を出し切りました。北小のゴールの時だけでなく、相手チームのプレーに拍手を送る姿もあり、笑顔いっぱい心温まる大会となりました。

